

三重県立上野高等学校  
同窓会報

VOL.7

白 HAKUA 亜

事務局：〒518-0873  
三重県伊賀市上野丸之内107  
上野高等学校内  
TEL & FAX：0595-24-2231  
ホームページ：  
http://www.ict.ne.jp/~hakua/  
E-mail：hakua@ict.ne.jp



プロフィール

たつみ まさあき さん(高27回)  
弁護士(大阪弁護士会所属) 京都大学  
法学部卒。季刊文芸誌「メフィスト」に  
ミステリー評論を連載。著書『論理の  
蜘蛛の巣の中で』(06年 講談社)で第  
60回日本推理作家協会賞と第7回本  
格ミステリー大賞受賞。

麻耶 僕は在学中にデビューしてペン  
ネームは作家の島田荘司さんに付けて  
いただいたんです。先輩作家の綾辻さ  
んや我孫子さんも島田さんが名付け親  
です。

対談

ミステリーの楽しみ

本格ミステリー小説の作家として問  
題作を次々に発表している麻耶雄高さ  
んと弁護士業の傍らミステリー評論家  
として鋭い作家論を展開する異昌章さ  
ん。共に上野高校から京都大学に進み  
ミステリー研究会で腕を磨いた先輩、  
後輩の二人に語り合っていた。

異 僕の時代には、どこの大学にもミ  
ステリー研究会があった訳ではなく、  
早稲田や慶応にはあっても、関西の大  
学にはなかった。だけど、そのために  
東京へ行くわけにもいかず、京大へ入  
ってみたら、2年先輩が立ち上げてい  
て、よろこんで入会しました。

麻耶 僕は、どこの大学にもあるだ  
ろうと思っていたのに入会後、関西で  
はほとんどないと聞き、逆に驚きまし  
た。自分が入った大学にたまたまあつ  
て、ラッキーだったって感じですよ。

異さんの時代から『ミステリー研究  
会』のブームが始まり、麻耶さんの時  
代には衰退期に入り、OBだけの活動  
や廃会になることも多かつ  
たとか。

京大ミステリー研究会  
出身者には、今を時めく  
綾辻行人、法月綸太郎、我孫子武丸、  
大山誠一郎、清涼院流水など錚々たる  
メンバーが名を連ねています。

異 会の活動に『犯人当て』というも  
のがあり、会員が作品を例会で発表し、  
他の部員が真相を推理し、誰が一番真  
相に肉薄しているかを決定するもの  
で、作家としての腕を磨く貴重な場所  
でしたね。

上野高校での思い出

異 上野高校時代は、地域柄か、放任  
主義的というか、のんびり、ゆったり  
と好きなように過ごさせてもらえた時  
代でしたね。先生で印象に残っている  
のは、地学の奥山先生です。東野圭吾  
さんの作品で、『容疑者Xの献身』と  
いうのがあって、それに登場する教師  
に奥山先生を重ねて見ていました。未  
だに覚えているのが、山の高さを求め  
る問題があって、答えが4万メートル  
になるんですが、そんな山は存在する  
わけがないと思い、4千メートルと書  
いたら、答えはやはり4万メートルだ  
ったんですね。そんなとんでもない問  
題を出したりする辺りがこの登場人物  
にそっくり。

麻耶 僕の場合は、3年生の夏休みに  
『ガンバレ！燃えつきろ！』と暑中見  
舞いを送ってくれた宮井先生が印象に  
残っています。で、休み明けに「夏に  
燃え尽きてしまったらまずいな。すま  
ん。」とみんなに謝っておられました

（笑）。伊賀という所は、盆地で閉鎖的  
なせいか、いろいろな情報が入りにく  
かったですね。今のようにインターネ  
ットもありませんでした。だからの  
んびり過ごせたこともあるのですが、  
推理小説が手に入りやすかったのには  
困りました。

—ミステリー界に上高卒の3人が—  
2002年の『本格ミステリー短編  
ベストセレクション』に倉阪鬼一朗さん  
(高29回)と共に上野高校出身の推理  
小説作家3人の作品が並んでいます。  
異 それは、今、初めて気がつきまし  
た。倉阪さんとは、知り合った後で彼  
と私が上野高校の1年と3  
年だったという話を誰かに  
聞きましたね。ミステリ  
ー業界ではこの3人が同  
じ高校出身というのが、ト  
リビアになっているらしい  
です。（笑）

麻耶 確かに、小所帯の京  
大のミステリー研究会にマ

ンモス校でもない上野高校の先輩がいるというだけで、凄  
い事だと思いましたからね。

異 倉阪さんは、ミステリー  
の中でも『怪奇小説』という  
部類で一種幻想的な謎解き小  
説を書かれています。麻耶君  
の場合は、本格ミステリーの  
面白さである、理詰めで犯人  
を推理するとか、クイズ的であるとい  
った要素を残しながら、不思議な結論  
で終わらせるというんですね。

麻耶 ミステリーの中でもいろんなジ  
ヤンルがありますが、結局は、作者が  
どこにウエイトを置いているかと思  
います。僕としては、謎解きにウエイ  
トを置いて、いろいろ服を着せて行く  
という感じで書いています。

異 伊賀の地域性なのかもしれない  
が、原理には忠実であるけれども、マ  
イペースであるというのは共通項とし  
てあげられると思います。それは、歌  
手の平井堅さんについても言える気が  
します。

麻耶雄高さん  
VS  
異昌章さん

「論理の蜘蛛の巣の中」  
という評論集の中で、麻耶さんの  
作品について『体温の低さ』というキ  
ーワードで何度も触れ、麻耶さんの作  
品、『夏と冬の奏鳴曲』では解説を担  
当されていますが、異さんから見た麻  
耶さんとは、また麻耶さんから見た評  
論家異昌章さんとはどんな存在なの  
でしょうか。

異 彼の作品は、人が殺されたりした  
ら、不安や驚きがあつて当たり前なの  
に、ショックを受けず、別の視点から  
見ているといった主人公が多い、それ  
が『体温の低さ』です。それが作者の  
表現力の未熟さからそうなってしまう  
場合もあるのですが、彼の場合はそう  
ではなく、『体温の低さ』を持つ主人  
公が、力強く存在感を持ってそこにい  
るんです。それが何なのかという点で  
僕の見解も止まっています。

麻耶 そうですね、距離を置いて出来  
事を見てというのが根底にあります。  
異 伊賀の場合、テレビや新聞の情報  
は、大阪からも名古屋からも入ってき



プロフィール

まや ゆたか さん(本名・堀井良彦  
高39回)  
作家 京都大学工学部卒。在学中に『翼  
ある闇 メルカトル船最後の事件』  
(91年 講談社)で作家デビュー。作品  
に『夏と冬の奏鳴曲』、『陽』、『木製の  
王子』、『名探偵 木津津悠也』、『虫』  
など多数。

て両方からの意見やお国自慢が聞  
ける、そういう土地で育った事も影響が  
あるのかもしれませんが、1箇所盛  
り上がっていると、その場所に行くの  
は控えて客観的に見ているといった部  
分はありますね。

異さんについては、評論に妙に小説  
っぽい色気があるなと感じています。  
そこが、他の評論家と大きく違うと思  
います。

異 その点については、学生時代から  
アルバイトとして編集部に入り浸つて  
いる人達は、求められる物を書かなけ  
ればなりません。僕の場合は最初から  
そういう制限がなく作品を書かせても  
らえたというのが大きいと思います。

—今後の目標—  
異 評論の場合は、場所を与えてもら  
えるかどうかですね。現在は、長編で  
『森の奥の祝祭』という作品を連載し  
ています。中世ヨーロッパが舞台の話  
なのですが、そんな中でも地域性とい  
うものは僕の中にあつて、中央と地方  
の格差のようなものが身に染み付いた  
テーマとしてあるのだからという事を再  
確認しています。

麻耶 僕は、今後も核となる謎解きの  
部分をふまえた上で、いろいろチャレ  
ンジしたものを書いていきたいと思っ  
ています。あとは、書くペースをもう  
少し上げていく事ですね。

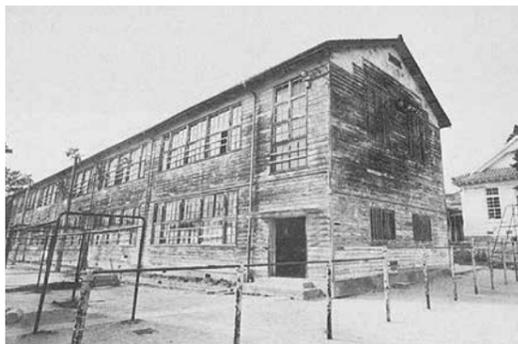
「取材を終えて」  
異さんは、弁護士で評論家という肩  
書きのイメージに反して、雄弁で、物  
腰の柔らかい方で、ほっとしました。  
麻耶さんは予想通りのシャープな印象  
の方でした。お二人のお話から、静か  
な教養あふれる言葉の奥に、力強い信  
念や、存在感を感じました。  
5月25日、大阪キャッスルホテル  
(取材：米岡広美・高32回)



家庭棟(後方) 昭和29年~昭和56年  
生物棟(手前) 昭和30年~昭和56年



理科棟 昭和32年~昭和56年



普通教室棟(30番棟のちの40番棟)  
昭和25年~昭和57年

フォトメモリー

あの日、あの時  
Part2

懐かしの校舎編

ごあいさつ



学校長 加藤 文悟

同窓会の皆様には、平素より上野高等学校の教育の振興に格別のご高配を賜り、誠に有難うございます。上高生は、皆様から自強不息の精神をしっかりと受け継ぎ、勉学に部活動に日々汗を流し、それぞれの分野で上高旋風を巻き起こしてくれています。昨年度、運動部において、硬式野球部が21世紀杯の候補に推薦され大きな話題となりました。また、女子ハンドボール部が8年ぶりに東海大会へ出場するなど目覚ましい活躍をしてくださいました。今年度に入ってもその勢いは衰えず、硬式野球部が春の大会で準優勝し、東海大会初出場という快挙を成し遂げ、さらに男子弓道部、女子弓道部、そして、陸上競技部が東海大会への出場を決めています。また、文化部においては、ギター・マンドリン部が18回連続全国大会出場を果たすとともに、吹奏楽部、新聞部等が優秀な成績を収めています。そして、読書感想文での全国入賞や「鈴鹿と緑雨とアフォリズム」での新人



同窓会長 左橋 佳三

同窓会報「白亜」の発行にあたり、書面ではございますが、ご挨拶申し上げます。上野高等学校同窓会の皆様におかれましては、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。また、平素から同窓会の事業活動に対し、格別のご理解とご協力を賜りまして、厚くお礼申し上げます。さて、上高同窓会も、現在、ご健在な会員様だけでも、優に3万名を超える大きな組織となり、その中で地元の方々は勿論、上中、くれは、扇の芝の各会、並びに東京、京阪神、名古屋の各支部、及び他の地区でご在住の会員の皆様方には、それぞれのお立場で同窓会としての活動にご努力いただきますとともに、年会費の納入におきましても、積極的にご協力を賜り、大変有難く存じているところでございます。ただ、私個人としましては、会長の職をお受けたい

今、社会においては、景気の回復とともに人材確保に向けた動きが激しく、数年前とは隔世の感があります。しかし、変化の激しい時代にあつて、子どもたちには、基礎基本をしっかりと身につけたうえで、将来を展望し、激動する社会に弾力的に対応できる豊かな創造力と主体的に行動する力が厳しく求められている状況に、変わりはありません。上高生が、そうした力を養って社会の発展に貢献する人に育つよう、本校職員は一丸となって取り組んでいます。皆様には、本校教育に一層のご支援をお願いいたしますとともに、益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

たしておきながら、さしたるお役にも立てず申し訳なく存じております。一方、道路特定財源、年金、後期高齢者医療制度等の問題、或は原油の高騰、穀物価格の上昇等、我々の生活に直結する問題が山積しておりまして、これから先、一抹の不安を抱かざるを得ない情勢にありますが、こうした時こそ同窓の意義を再認識するとともに、同窓の絆の強化、情報交換を図る機会等を作ることが、同窓会そのものの勤めであり、同窓会事業の根幹を成すものであると考えております。なお、毎年このことから、会報「白亜」発行にあたりご協力いただきました方々に、心からお礼申し上げますとともに、今後、同窓会に對しまして、一層のご理解、ご協力を賜りますことをお願い申し上げます。賞受賞、佐佐木信綱顕彰歌会佳作入選など文学においても素晴らしい成績を収めてくれました。もちろん、学業においても、国公立および私学の難関といわれている大学に数多く合格するなど、実力を発揮するとともに実績を伸ばしています。

懐かしの先生をたずねて

奥 友親先生



尋常高等小学校（2年生の時、国民学校に）6年生の時に終戦を迎える。旧制県立上野中学校を受験し入学。ところが3年生で学制が変わり、新制中学校（緑ヶ丘中学校）へ。再度試験を受けて新制の上野高等学校に入学。当時の上野高校は北校舎（前・上野北高等学校）と南校舎（前・上野南高等学校）に学区制で分かれており、南校舎に入学したが、2年生で普通科は北校舎へ移る。3年生の時、北校舎が上野高等学校に、南校舎は上野商工高等学校に、と目まぐるしく変わる中で多感な時を送る。教師になったきっかけは、旧制中学の時、辻井浩太郎先生から「君は教員が似合っている。真面目に務めれば食いばぐれはない」と勧められたから。

まぼろしの「伊陽会」

「ふるさととは万歳遅し梅の花」この句碑は、いま白鳳公園の駐車場玄関に多数の観光客を待ち受けている。伊賀を代表する芭蕉さんの俳句として、私の脳裏に深く刻まれたのは上野中学5年生の2学期のことである。現代国語の正住亮太郎先生の授業で俳句を教わり、冒頭の俳句の添え書きにある「伊陽山中の春を愛で」の「伊陽」が我等故郷を表す言葉であることを教えられた。「伊陽」の語が醸す、美しさと力強さに云い知れぬ感動を覚えたのである。

さて、私の5年生は昭和18年4月からである。戦争は酷い。滅私奉公、質実剛健の教育で、「愛」も「幸」も口に出すことを禁じられていた。しかしながら5年生は人間として目覚める年齢期であるから「人生とは何ぞや」と体が、心が、頭が問題を持ち出し、「愛」「幸福」「生と死」について囁き合った。同級生同志で「いよう」と手を振って挨拶し「それは幸せやろ」と別れるのが日常になっていった。「いよう」「いよう」と教室が賑やかであった。丁度、2学期終りに、担任の辻井浩太郎先生から「君たちは近く上野中学を卒業するが同期生会を結成してはどうか」とのお話があった。組全体で卒業した後「いよう」と手を振って再会したいものだと意見があり、学習直前の芭蕉俳句の文中にある「伊陽」を当てたいと提案され、満場一致で同期生会の名称を「伊陽会」としたのである。昭和19年3月6日卒業式が挙行された。私は陸士入校が2月末であったため、卒業式の感激を味わうこともなく、同期生諸君と別れることとなった。

初めての赴任先は鳥羽市の神島中学校。言葉は訛りが強く外国へ行った様だった。2年連続で難関の鳥羽商船高等専門学校へ教え子を送り出す。が、当時は男子は漁師に、女子は行儀見習いのため奉公で「難しい学校になんぞやらんでも」という風潮。「これからは勉強も大事です」となんとか保護者を説き伏せたという。先生のお家に各国の民芸品が飾られているが、その内のいくつかはこの時の教え子から贈られた物だそう。

上野高校の教壇に立たれたのは昭和38年から。地理の福永正三先生が病気で倒れられ、「人文地理クラブ」も引き受ける。生徒達と上野の地域を調査し、年報「伊賀」というクラブ誌に掲載。その中の「上野市緑ヶ丘地区の都市化現象について」の調査は、今春刊行の「伊賀上野緑ヶ丘地誌」の編纂の土台にもなった。（先生はこの編集委員の一人である。）

また母校三重大の教育学部地理学教室に本部がある「三重地理学会」から依頼されて、「日本地誌」（二宮書店発行）巻13の「伊賀」を執筆。この時は上野図書館蔵の古地図（城下町の地図）を自ら模写し資料として掲載した。これも上野高校在任中の現地調査等が基になっている。この模写地図が地理の教科書に掲載されていてその後、名張桔梗丘高校に転任して偶然見つけびっくりしたという。

「教科書を教える」のではなく「教科書で教える」がモットー。地域の実体を調査して、生きた地理をとという姿勢は退職後の「上野市史」執筆の時も変わらず。朝4時に起き、盆地内の気温の移動測定（これは奥様の協力なくしてはできなかったそうです）や、決めた地点の気温・風向・風速・降水量等の測量で実際のデータを集めたり、上野測候所の観測資料等を分析して「自然編・第二章」をまとめられた。こういった観測の結果からも「伊賀は関西」圏の特徴を持っていると感じられている。それ以降、現在まで観測は続けているという。退職後はプールで体を動かし、外国を訪ねては、本にまとめられている。「ポケ防止です」との事だが、一行をものにするために多くの資料を調べる姿勢はいうまでもない。

最近友人が、「先生は飄飄としているところがええんよ」と話していた。上高に在任の30代前半の頃の先生のことです。（取材 安屋宣子・高19回）



昭和18年 5年・4年生 上中銃剣術部 三重大会優勝・京都師団大会準優勝

戦争が終結し、上野中学同窓会のお付き合いが始まった。しかし、「伊陽会」の名は同期生会から消えていた。誰も「いよう」とは云わない。白亜の校舎に学んだ童顔が消えて「愛」や「幸福」が共通のものでなくなっていた。上野中学に入学し、「人間とは何ぞや」と思考するまでに成長した5年間を、同期生会の名称を「伊陽会」としたいと願った夢を、何時までも忘れることが出来なかった。（松井房則 上中会前副会長・中41回）

### 白土三平作品に感化され 漫画家に

—大好評連載中のコミック『乱飛乱外』の田中ほさなさんが田仲剛くんだったとは！それにしては絵が繊細できれい。当時の田仲くんを思うと、とてもギャップを感じます(失礼)。漫画家になる夢は昔から？

物心ついた時から、ほんやりと、「なりたくなあ」と思っていましたね。本気でなれるとは思っていませんでした。今でも「漫

## メジャーデビュー INTERVIEW

漫画家 田中ほさなさん & ヴォーカリスト アヤヲさん  
(高41回) (高51回)

### 歌を通じてたくさんの愛と たくさんの感謝を伝えたい

アヤヲさんは上高卒業後故郷伊賀を離れて京都へ。R&B、ソウル、ブルース、ロック、ポップスなど、ジャンルを問わず数多くのセッションに参加。常連であった京都のライブハウス「RAG」でGuiliver Getのメンバーにめぐり合い、その卓越した歌唱力と魅力あるハスキーな歌声でひととき存在感を放ち、2007年6月に、B'z、倉木麻

—「乱飛乱外」は美人でナイスバディなくノ一たちが活躍する戦国時代劇。テンポの良い掛け合いやアクションがとて楽しく面白いと思います(売れてるよね)。『伊賀』という文字も出てきてわくわくしますが、「ノ一」を題材に選んだ理由は？

子供の頃にはお金がなくて、手に入る漫画を手当りしだいに読んでいたんですけど、その時、身近にあった白土三平先生の作品群を読んで、決定的な影響を受けてしまいました。まあ地元が地元です(笑)、そういった諸々の話をした時に、担当編集さんが非常にノットしてくれたということですね。

—作品を描く時に大切にしている事、田仲くんのポリシーは？

とにかく、「そのキャラクターがいかに言いそうなことを言わせ、いかにもやりそうなことをやらせる」ことに尽きますね。作家というのは怠惰なもので、ともすればキャラクター達に、物語の都合上から台詞を言わせてたり、

邦夫先生)で、いつもよく気にかけていた。同級生の宮西君は今でも、ライブの写真なんか撮ってもらってます。

—外から見るふるさと伊賀はどうですか。

作詞する時必ず伊賀の風景を想い浮かべています。昔から俳句や短歌が好きでしたし、芭蕉祭の俳句も入賞したことがあるんですよ。山のこども合唱団にも入っていて、毎年俳聖殿の前で「あゝ芭蕉さん」って歌ってました。作詞は芝居やコスプレのよう、いろいろな主人公になったつもりで書いています。京都から柘植に帰る時の草津線の中など、こういういい詩が出来たりします。「ひだまり」という曲があるんですが、これはふるさとに向けて作った歌で、完全に伊賀の曲です。

—高校時代の思い出は？

受験勉強が嫌いでした。でもちゃんと勉強はしてましたよ。特に英語や国語は好きで結構得意でした。思い出に残る先生は、国語の松村勲先生やサッカー部の顧問のクニオちゃん(沢井画家)なんて言われると、なんだかむずかしいです。「繊細」なんです。

—「乱飛乱外」は美人でナイスバディなくノ一たちが活躍する戦国時代劇。テンポの良い掛け合いやアクションがとて楽しく面白いと思います(売れてるよね)。『伊賀』という文字も出てきてわくわくしますが、「ノ一」を題材に選んだ理由は？

—後輩達へメッセージを。やりたことをやるのに遠廻りすることはないと、反対していた父も背中を押してくれました。自分のやりたいことを目指して突き進んで下さい。伊賀を出てみるとそのよさがよくわかるよ。

アヤヲさん率いるガリバーゲットの奏でる音楽は、どこか懐かし、ゆったりとした流れの中にJAZZの香りが漂う新しい感覚のもの。独自のサウンドと洗練された演奏力に加え、アヤヲさんの力強くセクシーな歌声が融合し、聴衆の心に響き魅了する。今後の活躍を大いに期待し、同窓生として応援をしていきたい。

—「乱飛乱外」の連載は続いていくと思いますが、今後はどんな作品にチャレンジしようと考えていますか？私個人的には『原作 伊藤たかみ・漫画 田中ほさな』二人のコラボを！と勝手に妄想して楽しんでいます。

純文学を原作に、というのとはとても今の時代にあったコンセプトだと思います。取り上げるのは、できることなら原作者のわからない古い人たちがいいですけど(笑)。太宰の「女生徒」とか、漱石の「それから」など、自分に力がついたらやってみたいですね。

—二年生の時、席が隣だったのを思い出しました。授業中時々腕を組んで

—最後に、後輩の現役さんたちへ、OBの皆様へ、ひと言メッセージを。

—「乱飛乱外」の連載は続いていくと思いますが、今後はどんな作品にチャレンジしようと考えていますか？私個人的には『原作 伊藤たかみ・漫画 田中ほさな』二人のコラボを！と勝手に妄想して楽しんでいます。

純文学を原作に、というのとはとても今の時代にあったコンセプトだと思います。取り上げるのは、できることなら原作者のわからない古い人たちがいいですけど(笑)。太宰の「女生徒」とか、漱石の「それから」など、自分に力がついたらやってみたいですね。

—二年生の時、席が隣だったのを思い出しました。授業中時々腕を組んで



—最後に、後輩の現役さんたちへ、OBの皆様へ、ひと言メッセージを。

—「乱飛乱外」の連載は続いていくと思いますが、今後はどんな作品にチャレンジしようと考えていますか？私個人的には『原作 伊藤たかみ・漫画 田中ほさな』二人のコラボを！と勝手に妄想して楽しんでいます。

純文学を原作に、というのとはとても今の時代にあったコンセプトだと思います。取り上げるのは、できることなら原作者のわからない古い人たちがいいですけど(笑)。太宰の「女生徒」とか、漱石の「それから」など、自分に力がついたらやってみたいですね。

—二年生の時、席が隣だったのを思い出しました。授業中時々腕を組んで

—最後に、後輩の現役さんたちへ、OBの皆様へ、ひと言メッセージを。

—「乱飛乱外」の連載は続いていくと思いますが、今後はどんな作品にチャレンジしようと考えていますか？私個人的には『原作 伊藤たかみ・漫画 田中ほさな』二人のコラボを！と勝手に妄想して楽しんでいます。

純文学を原作に、というのとはとても今の時代にあったコンセプトだと思います。取り上げるのは、できることなら原作者のわからない古い人たちがいいですけど(笑)。太宰の「女生徒」とか、漱石の「それから」など、自分に力がついたらやってみたいですね。

—二年生の時、席が隣だったのを思い出しました。授業中時々腕を組んで

### ～情報ピックアップ～

- 椎名 栞平君 来年GW公開映画「レイン・フォール」に主演、撮影順調。椎名君演じるクールな殺し屋と「レオン」で有名なゲイリー・オールドマン演じるキレるCIA支局長の攻防が東京を舞台に繰り広げられる。
- 平井 堅君 最新アルバムリリース「FAKIN' POP」8.15 国立代々木体育館「サンスターオーラター 20th J-WAVE LIVE」
- 伊藤たかみ君 芥川賞受賞後第1作「フラミンゴの家」発売中。現在連載中は——「海峡の南」文学界・「カンランシャ」CLASSY・「70年製」小説トリッパー・「白旗アパートシリーズ」エソラ

藤堂高虎公入府400年  
書状展と刊行も

藤堂高虎公が慶長13年(1608)伊予今治から伊賀・伊勢に移封され、平成20年(2008)は記念すべき入府400年の節目の年にあたります。

伊賀上野城では「藤堂高虎公古文書展」を11月24日まで開催しています。

古文書の多くは、長い年月に散逸したり亡失したりで、はたして何枚の古文書が残されているのか不安でした。幸いにも当地の旧家や郷土史家に数枚の高虎書状が残されていることが判明しました。早速ご協力をお願いしたところ、早くご承諾を得ることができました。

原文書の貸出で10枚、原文書のコピー35枚が展示可能となり何とか展示会の開催の目途がつけました。

しかし貴重なものだけに、貸出やコピーについても承諾が得られない場合もありましたが、写真の提供にはご協力いただくことが出来、また各地の博物館・資料館からもご協力を得ましたので、なんと151枚もの高虎公の古文書が集まりました。これらの写真と解説分、解説を加え当初予定の目録を「藤堂高虎古文書集」として発刊すること



▲展示資料を説明する福井さん

になりました。書状の多くが高虎が家臣に指示を与える内容で、大阪城築城に関する工事の指示や米の販売に対して古い米から先に売り、新しい米は後回しにするように指示したり、工事の人夫にも気を遣うなど高虎の家臣への思いやりや几帳面な性格であった一面が見られる内容でした。

藤堂高虎公が築城の名手として、徳川家康公に認められる他に、真面目で几帳面なこの性格を家康公が好いて政治の相談役に抜擢したことが偲ばれるもので、文書展は藤堂高虎公を再認識する良い機会であったと考えています。

(財)伊賀文化産業協会専務理事 福井健二・高6回

上野高校近況

6月4日第60回体育祭が行われ... 今年の入梅は昨年より十日あまり早く前日の雨で天候が心配されましたが、当日は暑さもほどほどで絶好の体育祭日和となりました。

百周年記念事業で植え替えられたカラタチの生け垣には横断幕が掲げられています。「祝、東海大会出場硬式野球部」「祝、東海大会出場弓道部」の文字が踊っています。

昨日新聞コンクール優秀賞の新聞部、その号外「SUN」は、出場する選手の心情を丁寧な取材で伝えています。弓道部のある生徒は、試合中はコブクロの「君という名の翼」の歌詞にある「この一瞬に賭けてみたい」という言葉を胸に挑んだと言います。

平成18年度(平成18年9月1日~平成19年8月31日)三重県立上野高等学校同窓会名簿特別会計収支決算書

Table with 2 columns: 1. 収入の部 (Income) and 2. 支出の部 (Expenditure). Includes items like 前年度繰越金, 売上高, 雑収入, 会議費, 通信運搬費, etc.

平成18年度(平成18年9月1日~平成19年8月31日)三重県立上野高等学校同窓会一般会計収支決算書

Table with 2 columns: 1. 収入の部 (Income) and 2. 支出の部 (Expenditure). Includes items like 前年度繰越金, 入会金, 年会費, 雑収入, 会議費, 総会費, etc.

平成19年度(平成19年9月1日~平成20年8月31日)三重県立上野高等学校同窓会一般会計収支決算書

Table with 2 columns: 1. 収入の部 (Income) and 2. 支出の部 (Expenditure). Includes items like 前年度繰越金, 入会金, 年会費, 雑収入, 会議費, 総会費, etc.

平成19年度(平成19年9月1日~平成20年8月31日)三重県立上野高等学校同窓会名簿特別会計収支決算書

Table with 2 columns: 1. 収入の部 (Income) and 2. 支出の部 (Expenditure). Includes items like 前年度繰越金, 売上高, 雑収入, 会議費, 通信運搬費, etc.

平成19年度(平成19年9月1日~平成20年8月31日)三重県立上野高等学校同窓会一般会計収支決算書

Table with 2 columns: 1. 収入の部 (Income) and 2. 支出の部 (Expenditure). Includes items like 前年度繰越金, 入会金, 年会費, 雑収入, 会議費, 総会費, etc.

平成19年度(平成19年9月1日~平成20年8月31日)三重県立上野高等学校同窓会一般会計収支決算書

Table with 2 columns: 1. 収入の部 (Income) and 2. 支出の部 (Expenditure). Includes items like 前年度繰越金, 入会金, 年会費, 雑収入, 会議費, 総会費, etc.

会費納入のお願い
上野高等学校同窓会は、毎年春の卒業生による新入会員入会金と全会員にお願いしております。

平成20年度(2008年)総会のご案内
とき 平成20年10月5日(日)
・14:00~ 総会
・15:00~ 記念講演
・16:00~ 懇親会(会費3,000円)

総会報告
平成19年度上野高等学校同窓会総会が昨年10月13日(土)上野フレックスホテルにおいて開催されました。

記念講演
講師 戸上 宗賢さん
演題 虹の彼方へー文化の越境を担った人々ー
プロフィール
上野高校(第4回)昭和28年3月卒業

寄贈
一、国語科筆記簿、二、漢文科筆記簿、三、地理科筆記簿、四、五月分日誌、五日誌
以上 五冊

懇親会アトラクション
スウィーティーによる大正琴演奏
プロフィール
ソプラノ1: 井坂恵美子、ソプラノ2: 辻浩子、アルト1: 石崎美由紀、アルト2: 中村二三子、テナー: 鶴見秋子、ベース: 岡田順子

# おたより おたよりせ

## 第17回上中会総会

6月1日、上中会の第17回総会が伊賀市長らをお招きし、会員80余名が出席、ウエル・サンピア・伊賀で開催された。

今年役員改選が行なわれ永年会長をつとめられた出後治氏が引退され、新しく福井紀生氏が選ばれた。議事の審議に続き、記念講演が行なわれ、元安田火災海上保険(株)専務取締役の伊室一義氏(第42回卒)から「サバンを訪ねて」と題してアフリカの野生動物の生態について映像を通じ、興味ある解説を聞き一同深い感銘を受けた。懇親会に移る前にアトラクションとして「琴修会」の大正琴が演奏され、クラシック、民謡、歌謡曲などバラエティにとんだメロディーに酔いしれた。引き続き懇親会に入り、なごやかな雰囲気でお話を深め終った。  
(文責 北岡敏典・上中会書記・上中昭和19年入)

## 上野中学校昭和23年(第46回)卒業生同窓会開催

本会会員の標準年齢も78歳、参加者は急速に減少しましたが、21名の元気が集い「白鳳城下健児の団」なる校歌を歌い上げました。恒例のテーブルスピーチは、地理学者の早瀬哲恒君が「日本の民家」と題し、茅葺屋根に魅せられて調査に没頭した研究談話に聞き入りました。茅葺屋根住宅に居住経験者も多く質疑も活発で盛り上がりました。傘寿の祝までの本会の継続と来年の4月6日を約して午後4時解散。  
(福井佑吉)

## 高3回 いよいよ、後期高齢者

私達3回生もいよいよ後期高齢者

層に突入しました。年金や医療制度など不安要素が多く、高齢者の頭痛のタネです。

最近「メタボ健診」が話題となり、成果が無ければペナルティを課せられるとのこと、何故か怒りと薄笑いを感じます。政府は他人のメタボを気にするまえに、国のハラを真剣に考えるべきでしょう。川柳に「憎らしい つまんだ腹が 肉らしい」妻の服 昔フアスナー 今はゴム」とあり、真実だけに大笑いが出ます。

さて私達は昨年9月同期ゴルフ会を開催、50回記念として盛大に祝しました。又11月には青蓮寺レークホテルで同窓会を開催、参加人員が減少するなか大いに気持をあげ、巨大な戦艦の模型やガラスアート、銅版画など創作品も多数出展され、その素晴らしさに感動をうけました。ややもすれば暗い世相のなかで同窓生の集いは心が和む思いで楽しい一日でありましたし、その絆こそが私達にとって誇りであり、宝だと思っております。いつまでも目標と勇気をもって頑張りましょう。  
(福本尚三)

私達9回生は大変仲のよい学年で卒業以来50年、隔年毎の同窓会を続けてきた。最初は正月に上野で行なっていたが、正月では女性の参加が難しいことや、時間にも多少余裕が出来たこともあり、20年程前からは上野、大阪、上野、東京と場所をかえて、1泊観光付きで続けている。それぞれ地域の幹事が場所、季節など考え趣向を凝らしている。

前回の赤目の滝の会には80余名の参加があり、大盛会であった。昨年は東京が幹事で中学の修学旅行が鎌倉、東京方面であったのを懐かしみ、江の島宿泊、鎌倉観光となった。

9月30日、生憎の雨であったが、卒業50年を記念する会に岩本先生、



## 上中昭和21年入学生同期会

銀座の柳青める5月13日の午後、

第8回同期会が東京駅前の八重洲富士屋ホテルで開催。従来、地元とその周辺で行なわれ初めて東京開催で出席者数心配されたが首都圏からは勿論、関西からも予想以上の参加があり34名が集まった。

昭和23年春の学制改革で別れて以来の再会した者や、後期高齢を迎えた「健児の団」たちは積る思い出話や自己紹介などで早や時間が流れた。

最後に声高らかに校歌を唱い会を締め、お互いの健勝を誓い合い名残惜しみつつ帰途についた。  
(吉岡 進)

## 上高6回

私達9回生は大変仲のよい学年で卒業以来50年、隔年毎の同窓会を続けてきた。

最初は正月に上野で行なっていたが、正月では女性の参加が難しいことや、時間にも多少余裕が出来たこともあり、20年程前からは上野、大阪、上野、東京と場所をかえて、1泊観光付きで続けている。それぞれ地域の幹事が場所、季節など考え趣向を凝らしている。

前回の赤目の滝の会には80余名の参加があり、大盛会であった。昨年は東京が幹事で中学の修学旅行が鎌倉、東京方面であったのを懐かしみ、江の島宿泊、鎌倉観光となった。

9月30日、生憎の雨であったが、卒業50年を記念する会に岩本先生、



福井先生をお迎えし奇しくも50名の方が参加された。遠い日の思い出、日々のあれこれ、果は孫の話まで出て和気藹々の宴会が盛り上がり、最後は校歌合唱で締めくくられた。翌日は雨も上がりバスにて長谷寺、大仏、八幡宮等々を観光の後、2年後の上野での再会を約し解散となった。  
(土井夏繪)

## 高14回 修学旅行再び

昭和38年の卒業生にとって「修学旅行の思い出は？」と聞かれたら異口同音に「雨また雨の修学旅行だった。」と答える人が多いのではないのでしょうか。当時の上高新聞(第53号)が「旅は道づれ雨にぬれ」のタイトルで報じる程雨に降られ、特に最後の宿「杖立温泉」では集中豪雨さながらの大雨だったことを47年前にもなりますが鮮明に覚えています。



そこで、「還暦同期会」で話がまとまり、大阪組が幹事当番となり今回の「修学旅行再び・杖立温泉を宿にして」の計画をたてていただきました。

そして、平成19年11月30日大阪南港を夕方6時50分発のフェリーさんふらわあ号に乗り、2泊3日の2回目の修学旅行に参加しました。

同期の全員にお誘いの案内を出していたのですが、家庭の事情や、身体の調子等で残念ながらわずか18名の参加でした。しかし、互いに和気藹々とした雰囲気一路別府

へ。別府港から前泊の東京組と合流し、貸切バスで、九重夢大吊橋、阿蘇山、草千里グリーンパークと雲一つない冬晴れの中を巡りながら、前回ではこのパノラマのような壮大な景観を十分満喫できなかった分、今回で大いに取り戻したほどの気分になりました。

## 支部だより

### 名古屋支部

支部長 浅菜宝明(高17回)  
副支部長 松村直人(高20回)  
副支部長 川本隆信(高27回)  
会員 愛知・岐阜・はじめ中京圏に住する入会希望者  
総会・懇親会 隔年1回(6月)

平成20年6月21日(土)名古屋の中心部「栄」に在る「東京第一ホテル錦」にて上野高校同窓会名古屋支部総会が開催された。左橋佳三同窓会会長・加藤文悟校長・留永裕也同窓会事務局のご参列を得、少人数ながらも比較的若い世代の初参加者も散見されるなか、午前11時35分から総会はスタートした。

事業報告・会計報告・監査報告・支部規則改正・役員改正・事業計画・会計予算と滞りなく総会は終了し、引き続き第2部の懇親会へと移行した。

新しく新任された川本副支部長の司会のもとに、浅菜支部長・松村副支部長挨拶後、留永裕也事務局より上野高校の現状及び活動状況の詳しい報告があり、参加者一同懐かしさと同時に感動を覚える思いがあった。

比澤会計による各テーブル毎の「クイズ問題」は、伊賀地方に関連する歴史から産業分野におけるポイントを幅広く抽出したもので、専門業種で活躍していても面食らう難問有り、大変興味深かったと同時に問題提起のご努力に深く感謝を表したいものであ



た。宴たけなわの中で行なわれた「ピングゲーム」では、小竹監査のご配慮により参加者全員に行き渡る商品が準備されたのだが、その内容は全て伊賀地方で作られた物(各種漬物・菓子類等)ばかりで、改めて「伊賀の香り」を感じることが出来、賞品の選択に戸惑っておられる情景も微笑ましかったです。

時を忘れての語らいのうちに時は過ぎ、閉会の時間は午後3時前となりました。  
(山本吉正・高7回)

# 東京支部

6月7日土曜日、銀座三笠会館において東京支部恒例の新卒業生会員の歓迎会が開催されました。



今年で24回を迎える伝統行事で、関東方面へ進学された同窓生を激励する会として実施されています。来年からは6月の第2土曜日に実施される予定です。

東京支部総会 11月16日(日)

会場 八重洲富士屋ホテル

講演と歴史探訪

「白鳳城築城400年と藤堂高虎」

(仮題)

藤堂高虎ゆかりの上野寛永寺他探訪

講師とガイド

福井健二氏(高6回卒)

東京支部新卒業生会員の歓迎懇親会に参加して

上野高校で2回卒業生を送り出していますが、東京支部の懇親会に初めて参加させていただきました。自分の出身校の同窓会にも参加したことがないので、元担任でありながらも、少し緊張して会場に向かいました。

卒業して約3ヶ月ぶりの再会になるのですが、大きな変化はあまり感じませんでしたが、表情が以前上野高校にいたころよりも、少し大人びて見えました。「都会の大学生」という雰囲気を出しているようにも見えました。また、大学の様子や普段の暮らしぶりなどを聞いて、「ちゃんと生活できているの?」とついつい心配してしま

支部長 吉岡 進(高3回)  
組織の区域 関東地区(東京、神奈川、山梨、埼玉、栃木、群馬、茨城、千葉)  
会員数 約1,800人  
総会・懇親会 隔年1回(11月)  
会費 年額 1,000円  
会報「伊賀の友垣」発行 年1回(10月初旬)

う場面もありました。新入参加者は8名と少なかつたですが、彼らの中でも久しぶりの仲間に会話を弾ませていました。

会の後半で、それぞれが自己紹介と将来の夢を語る場がありました。その時の様子も、以前の高校生のときは違い、しっかりと自分の思いを言葉にしていたので、「このわずかな時間の間でもこんなに成長するんだな」と思い知らされた気分でした。また、ある生徒は、「高校のときに思い描いていた夢もあるけれど、大学で学び始めてからある方面に関心を持ち始めて、そちらの方にむけて頑張りたい」と、と

# 京阪神支部

まず支部事務局設置について。小生が支部長を拝命したのが2年前。それまでは、支部総会や役員会の案内・出欠の取りまとめ等、事務局的な仕事は一役員に委ねる形となっていた。いつまでも一役員に負担をかけるのは如何なものか。事務局は、役員の交代等で動かされない恒久的な所に定めるべし、と常々考えていた。聞く所によると、企業の営業用ホームページ製作会社である(有)イオオフィスの代表者は、当同窓会支部の一先輩の下で働いていた頃から、実質的に当支部の雑務に携わっており、まさに適任という事で、一昨年同所を正式な事務局として認知したものであります。今では、その事務処理能力抜群の同事務局に、大いに助けられている所です。

さて、本年度の上高同窓会京阪神支部定期総会が、5月25日(日) 淀川や

でも意欲的な目標を語ってくれました。上野高校での3年間、担任と生徒で多くの関わりを築きあげてきました。衝突することもあったけれど、それぞれが自分の道を切り開き、目標を持って前進してくれていることが私たちが教員の喜びになり、すべての苦勞が報われるときだと思っています。彼らの言葉を聞いて、改めて「私も彼らには負けられない」と奮起したところでした。

もう一つ思いがけない収穫は、初めて自分が卒業させた代の卒業生が参加してくれていて、久しぶりに再会できたことです。彼は大学4年生になっていて、立派に成長していました。自分が担任したわけではないけれど、とても嬉しいのと懐かしいのとで、長々と話し込んでしまいました。卒業生のこれからの将来を期待し、遠くながら応援していきたいと思えます。

最後に、このような盛大な懇親会にお招きいただいたことを、厚くお礼申し上げます。(上野高校教諭 佐藤友佳)

支部長 百本惇晃(高7回)  
会員 京阪神及び奈良地区に在住(職)する入会希望者  
会員数 約1,000人  
総会・懇親会 年1回(原則5月)  
会費 年額 1,000円

中ノ島公園を臨む大阪キャッスルホテルで開催されました。

当日の出席者は昨年よりやや少ない約40名。その出席者を見ると、小生(上高7回)と同年生以上のものが7割超を占め、また住所別別では、大阪市内が32%、大阪府下30%、兵庫・奈良が各16%、その他6%でした。

1年間の会務・会計報告等定例の議事後、上野在任で俳誌「芭蕉伊賀」主催の俳人、藤井充子さん(上高1回)の「芭蕉とふるさと伊賀・伊賀の俳人」と題した講演があり、芭蕉終焉の地である大阪御堂筋副都心の南御堂の事も含め、各先人の俳句を味わいながら興味深く拝聴しました。その後は、部屋を替えての懇親会となり、同期生の再会或いは先輩・後輩相交えて、杯を交わしながらなごやかに旧交を暖める一日が終わりました。(百本惇晃・高7回)



# 写真展「eye」が開催されました



5月11日(日)に2006年度写真部卒業生による写真展「eye」が伊賀市上野忍町の銀座の館「和ホール」で開催されました。卒業して1年、大学や専門学校の学生、社会人と卒業生の進路は様々ですが、今年の正月に集まった際、その企画が持ち上がったそう、3月にはプレイベントを行い、そして5月への開催にこぎ着けました。中には写真展「eye」のために中古の銀塩カメラを買った、学校の暗室で現像をする卒業生もいました。

「高校を卒業して、はじめてわかることがある。もう一度、自分たちの手だけで写真展をやろう。」と、「もうひとつのeyeを通して見つめたい何か」をテーマに日々の生活を撮影した写真は、上高在学中にはなかった新たな表現や展示方法があり、私自身も勉強することがたくさんありました。

ところで写真部は、毎年3月の最終土日に日を固定して、銀座の館「和

ホール」で上野高校写真部「三月展」を開催しております。桜の花薫る3月、現役高校生によるモノクロ銀塩写真をご覧ください。(渡辺宏泰 高33回・現写真部顧問)

上高を卒業して1年、大学生として、社会人として培った「eye」と「I」を表現しようと企画された写真展でした。目的は「現在のわたしたちで作る」ということで、各々の時間の調整や予算の制約に苦心をしたうえで、出展数は少なめでしたが、彼らの sensitivity の高さは十分に感じられる作品ばかりで、展示のし方も各自工夫をして楽しく見せてくれました。

これからの学業・仕事を優先しつつ、写真を撮りたいと語ったメンバー達に、来場者からたくさんのお礼が送られていました。次回写真展の開催については、メンバーの気持ちがあるままつながっていたらやりたいということでした。

写真を作るという個の仕事は写真展を開くという社会的な仕事につながるのには難しいことと思いますが、これから各々の社会でキャリアを重ねてより深く深い「eye」のちからを養ってほしいと願っています。(芝高寿一 高18)

# 編集後記

編集委員会でもいつも話し合われることは、幅広く各層各学年の情報バランスよく取材掲載しようということですね。そんな中で同窓生が全国各地、さまざまな分野で活躍されていることを知るにつれ、我が事のように大変嬉しく思います。

この会報が届く頃は、まさに北京オリンピックが開催されていると思いますが、我が同窓生からオリンピック選手が出てくれることを望んでやみませう。日本チャチャチャ! 上高チャチャチャ! (永微意・高19回)

# お知らせ

## 新学科「理数科」設置について

本校全日制において平成21年度入学生より理数科1クラス40名を新しく募集します。

近年、本校では国立大学理系学部への進学希望者が増加し、理系進学体制の更なる充実が急務となっていました。これを機に、伊賀の生徒を、地元の高校で育て、社会に有用な理数系人材の育成を図ることが本校に課せられた責務であり、それが、地域社会への貢献につながるのと考えから、理数科の新設に踏み切りました。

理数科では、普通科目の他に発展的で高度な内容を扱う理数専門科目の学習や、大学・研究機関・地域との連携を通して、

- ①理科、数学に興味のある生徒の学力の伸長
- ②自然科学、科学技術に対する独創的な思考力と創造力の向上
- ③課題を発見し、それを解決できる能力の育成

を目指し、難関大学進学を意識した特色ある学習活動を進めます。

文武両道という本校の伝統に加え、理数科新設により「自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる能力の育成」、「個性を活かす教育」を柱とした、地域社会と共に歩む「学校づくり」を推進し、これまで以上に魅力ある上野高校として広くアピールして参ります。(全日制教頭 松岡泰之)